夕刊
磐城新聞
一月二十九日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢（郵稅拾五錢）
廣告料金 普通欄 一行金六拾錢 特別欄 一行金九拾錢（五號十二字詰一行）場所指定一行一圓五拾錢
編輯印刷兼發行人 鈴木 析
福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
振替貯金口座（タイライワキ）平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

童話 朽ちた水車
味三阪青葱

（1）

町から遠くはなれた或る村に美しい小川が流れてゐました。

其の川に添ふて川上に上つて行くと古い朽ちた水車小屋があります、ずいぶん古くからあつたもので元は此の村の人々が皆此の水車へ持つて來て米を搗いたのでしたが二三年前、村へ電氣がひかれる樣になつてから精米所が出來たので誰一人水車へ米を搗きに來るものはありません。安くて早く搗ける精米所の方が便利だから其所へ皆頼んでしまうからでした。

水車小屋の屋根にはペン〳〵草が生へました。そして少し雨が長く降るとすぐ漏るので藁がみんな腐つてしまひますのに持主は少しも見廻つて與れませんでした。けれども水車は少しも休まず、ギードン、ギードンと廻つてゐました。

（2）

春が來ました。寒い北風が通りすぎて小鳥鳴く春が來ました。

小川のほとりに暖いお日樣の慈みに薄紅のれんげが優しく咲き初めました。そしてれんげの花は傍に優しく咲いてゐるすみれに話かけました。

『春ですわね、大分暖くなりました貴方も春を忘れないで美しい花をお開きですね』

『え……ゝ二十日ばかり前まではあまり北風がひどかつたので枯草の中で縮まつてゐましたが、此の二三日大變暖かさうなのでソット顏を出して見ましたの、あなたは元氣ですね、モー。ズット前から咲いて居られるのですか……』

『ハイ、十日程前からです　モー北風にもすつかりなれて左樣寒いとも思つて居りません。ごらんなさい小川の水も少しぬるんで來たやうですね』

と云つて愛想よくほゝ笑みましたがふと、れんげ草は思ひ出したやうに老け果てた水車小屋を見上げて云ひました。

『それはそうと、すみれさん――此の水車は近頃すつかり駄目になつちやつたですね。モー誰もお米を搗く人がないんですつて、そらまあ、あの屋根もごらんなさい、それからあの柱をごらんなさい屋根は所々腐つて落ちてゐるぢやありませんか、そして柱はあんなに曲つてゐるんですよ』

『まあ、可哀いさうに……誰もかまひ手がないと見えますね、何時まで斯うして水車屋を建てて置いたつて何んの役にも立たぬのに何うしてこはさないのでせう!』

『それはキット此の水車小屋のお父さんが死んだのかも知れませんよ、だから何時までも此のまゝなんですよ』

すみれとれんげの花はこんな噂話をしてゐたがやがて幸多い春を迎へた喜びは包んでも尚現はれて二人はモー樂しさうに歌ひ初めました。

（3）

淋しい、淋しい思ひで一人廻つてゐた水車は先刻の噂を聞いてゐました。そして樂しさうに歌つてゐるのを聞いてほろりと涙ぐみました。

世界中の誰からも見離されたやうに悲しく思つたのです。

×　×

やがて春も五月になると燕が來るやうになりました　そして燕は此の水車屋の軒へ巢を作つて其處へ卵を生み落しました。親つばめは一生懸命で卵をあたためてゐたが、やがて卵は可愛い〳〵雛に孵りました。

そしてピイ〳〵と大變賑かになりました。水車は大變嬉く思つて大切に〳〵巢を守つてゐるのでした。

一日一日とすく〳〵育つて行く燕の子を眺めて一人ぼつちの水車は取殘された悲しみも忘れて……そして眞夏になつて燒き付ける樣な天氣に水もすつかり枯れ果てて水車が廻はらなくなつても子燕はとても元氣です。

母つばめは毎日〳〵子つばめを連れて野良へ出掛けます。そして夕方巢へ歸つて來ます。つばめの子はとても、おしやべり屋と見えて巢へ歸つて來るとピイチク〳〵と喧しいのですが、それが水車小屋にはとても嬉しかつたのでした。

（4）

やがて秋立つ頃になりました。

茄子の味覺に食慾そゝる頃、つばめの母子は海を越へて常夏の國へ行く仕度に掛りました。

或る朝つばめの母子達は水車小屋に

『永く〳〵お世話になりました又來年參りますから』

と遠い〳〵國へ旅立ちました。水車小屋は又淋しく來年まで待たねばなりませんでした。

そしてつばめの殘して行つた巢を眺めてキット〳〵忘れないで來年も來る樣にと靜かに春を待つてゐるのでした。

時代警語

○時間は萬物を征服す……（シ・クスピア）

ナポレオンは時を守るの嚴格なるで有名であつたが彼の『ウォーターロー』の大戰に際して時機を失したのと部將グルーシーが遲參したのが原因となつて一敗地に塗れた。

蓋世の英雄シーザーは彼に暗殺を密告した書翰を直に讀まなかつた爲め議場に於て刄の銹となつた……

拈華微笑(三)

◇湯あり水ありブラック、ダイヤ惠まるる今夏以後の湯本町

◇愚圖々々してると失業者の鼻の下を干さう道路

◇容易に目的が貫けない勿來隧道

◇亭主と四兒を捨てて萬歲と駈落徹底的暢氣女

◇他山の木。採つて以て訴へらる

○……○

馬車（童謠）
服部常雄

がたごと〳〵
田舍の道を
小さいお馬車が
通ります
馬車の中には
お坊ちやんが
町から歸へりの
お土産か
澤山もつて
乘つてます
裸足の子供は
おはなもつて
小さいお手てで
迎へます
ぎよ者の提げた
小さいラツパ
はしるたんびに
搖れました。

社會の今日

1月30日

△チャールス一世斷頭せらる（一、六四九）△毒婦高橋お傳處刑年二十九（明治一二）△シャム訪問の少年團歸朝△英國綿業爭議交涉決裂（昭和六）

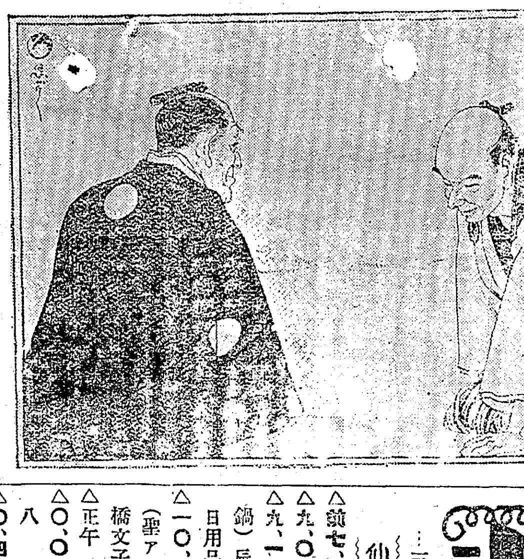
○

日向ぼこ空しき事を考ふる　凡水

講談 艶俠女長兵衛
東京 斯波南叟
（魚崎潮畫）

（二二）

政『アレ多田樣、何をなさいます……』と云つたが素々政には此の利太夫に身を任せる積りは無い、酒と色仕掛けで一判を押して貰ふ量見、併し相手は口先ばかりで叱と判を押して呉れるとも思へない、何う仕樣かと取られた手を拂ひもせず政『マ、待つて下さい多出樣、阿方の思召は判りましたが、如何に何でも夫が息あるうちは……妾も心が咎めま。から暫くの間我慢なさつて……兵代りイザと!』なつた時は阿方の志を無にする樣な事は致しませんから』と口から出任せ納得の出來るやうな事を云つて拒んだ、醉つては居るが多田利太夫、兎も角も武士の家で育つたのだから、不義と云ふ事は恐ろしい罪のやうに感じてゐる折角寳の山に入りながら手を空しくして歸るのだと思つたが、惚れた女の事心持を惡くさせるでも無いと、グニヤ〳〵になる、愈々書付に判を押す段となつて　利『御新造のお頼みは承知したが、今日左樣なことがあらうと存じて出なかつたから、印形を持參致さない、明日能出で押す事に致すから』全く判を持つて來なかつた、其處で安心するやうにと、書いた書面に多田利太夫と我名を書いて置いて、其夜は立戻りました、スルト翌日早く跡部彦四郎の屋敷から利太夫に急々來て呉れとの使ひが來る、利太夫は跡部には別段何の關係もない、けれども跡部は千二百石、自分は四百石、同じ公儀のお旗本とは云へ、滕高の違ひは身分の違ひとなる、行かぬ譯に成らぬから利太夫早速仕度をして番町へ出て來た　彦『多田、誠に大儀だつた』利『是れは御前、御無沙汰を仕りまして……』彦『サ、此方へ參り呉れ、チト聽きたい事があつてな』利『へエどう云ふ御用向でございますか』彦『築土の長田波之丞はお前の親類だが長田の事に就いて聽きたいのだ』利『へエ彼れは手前のいとこの家で、いとこの娘が婿を迎へて……』彦『去ればぢや、其邊の事を詳しく知つて居るから呼んだのだが彼れは拙者の組下だ、三四日以前用人の飯岡右膳が、跡取りの事に就いて願書を持つて參つた、飯岡右膳は立派な人物らしいが、彼れは譜代か又は近頃召抱えた人物か』利太夫は飯岡右膳の事は一向知らなかつた　利『イエ左樣な用人が居りますとは心付きません、譜代のものでありますれば手前存せん事は無いのですが、多分近頃召抱えたものと存じます』彦『然うだらう、その右膳に就ては餘程注意致さねばならぬ、拙者は別に親類ではないが組下であつて見れば長田の家に間違ひのあるのを喜ぶものでない、拙者の家に八重と申す芝の方から行儀見習ひに參り働いてゐる女が居るが、右膳の參つた節茶の給仕に出で、彼れは芝で薙刀の師範をして居た浪人で女弟子を端から疵つけ至つて評判惡く、夫れが爲め夜逃げを致した、其人物に相違なかつたとやら娘などに物語つたとある、一流の師でもしたものが三百石や其處らの家の用人になるとは何ぞ見掛けた山がなくて成らぬと云ふものだ、波之丞は病氣家付の總領息子を廢し後妻に出來たものを跡取りに致す、殊に主の波之丞は半身不隨で口がきけぬ、御新造は若し、其處へ薙刀の師匠の評判の良くない奴が乘込む、何かゴタ〳〵が起つてはならぬ、其許も親類先であつて見れば、充分心付けをせんければならぬ、其邊をよく心得て置くやうに……』跡部彦四郎は千二百石の殿樣だが、大身に似合はず人情に通じ、長田波之丞の病氣に就ても、態々見舞をやつた程の親切がある人物だから、利太夫が色仕掛けで頼み込まれた事も知らず只管注意する氣でいろ〳〵と不審な節を言聞かせて戻して遣りました。



ラヂオ

…三十日―（土曜）…

仙臺 JOHK

△前七、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理献立（樂み鍋）辰木ナカ
△一〇、三〇A 家庭講座 日用品値段（野菜るい）（聖アウガスチンの母）髙橋文子
△正午A 時報
△〇、〇五A 箏曲と七孔尺八
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△一、五〇A 元帥閑院宮殿下參謀總長御就任國民感謝大會狀況（一、大會開會を宣す 一、開會の辭…後藤文夫 一、元帥閑院宮殿下會場に御台臨―此の間陸軍々樂隊國歌『君ヶ代』奏樂―同最敬禮 陸軍々樂隊 一、國歌『君ヶ代』奉唱(二回)…陸海軍々樂隊、參列全員合唱 一、感謝文捧讀…德富猪一郎 一、感謝樂奏樂…陸海軍樂隊 一、元帥閑院宮殿下より御言葉を賜ふ（一同最敬禮） 一、奉答文捧讀…頭山滿 一、元帥閑院宮殿下萬歲奉唱（一同唱和） 一、元帥閑院宮殿下御退場―此の間軍樂隊『君ヶ代』奏樂（一同最敬禮）一、閉會の辭…柴田德次郎 一、大日本帝國萬歲三唱
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇（子供の時間）獨唱と齊唱 米澤市北部小學校兒童
△六、三〇A 英語講座（中等科）梅谷與一
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、三〇 講演（滿洲の治安と警備）仙臺憲兵隊長 小山彌
△八、〇〇A 謠曲（放下僧）喜多六平太、喜多實外五名
△八、四〇A ラヂオドラマ（婦系圖）泉鏡花作
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

積雪量

節分豆蒔
式次第

二月四日縣社子鍬倉稻荷神社ニ於テ執行午後一時修祓し同一時半家內安全祈禱し同二時豆撒執行

普通會費金二十錢（御加入ノ方ニハ家內安全祈禱、御神札、福豆、御神酒呈上）

特別會費（年男）金五圓（御祈禱札、福柳、福豆、本膳引物付白扇麻裏ヲ呈ス　但シ社衎大小御持參ナキ方ハ本會ヨリ御貸シ申マス）

特ニ本年ハ滿蒙出征軍人ノ武運長久身体健固ヲ祈禱シ且ツ厄年ニ當ラルル、二十五歲、三十七歲、四十一歲、四十二歲、四十九歲、六十一歲ノ方々ハ平町以外ノ神社等ニテ厄拂ヒヲナサルト云フコトハ恰モ福ハ外ト云フコトニナリマスカラ是非本會ニ御加入下サイ

石城福和內會

廣告

塵もつもれば富士山ほどに、掛けたた金が山になる

融通低利　蓄積安心
ミ年無盡
大藏大臣免許
湯本無盡會社
電話四七番

市原病院
院長 市原卯太郎
平町田町電一一四

木村病院
平町新川町
電話 一六四番

藤沼醫院
平町紺屋町電五〇七

ハシモトヤの毛糸
編物講習會
毎日階上で編物と手藝の講習會を催して居ます。どうぞ御遊びに御出で下さい。
カギ編。棒編。文化器編。何でも御自由に御敎へ致します
會費は一日十錢
田町 ハシモトヤ糸店

メリヤスとタビ
モリタヤ洋品店
平5丁目 電353

サルの年……第一時計より
今年は不景氣
常に商品の確實と流行の粋は時代のスタートを切つて顧客本位を生命として各位樣の御來店をお待ちして居ります。
御注文及び修理は電話一九五番へ
營業品目
各國時計類 貴金屬眼鏡 蓄音器各種 及レコード 懷中電燈
蓄音器部新設
鐵道省御用
金光堂時計店
平五（釜屋向ひ）電話一九五番

芳醇銘酒
ハクバノユキ
白馬の雪
營業所開設
倍舊の御引立相仰ぎ度奉懇願候
平町二丁目一一
白馬の雪營業所
辰の口本家 松本德一
電話 五四六 本營業所 二八五 店

夜間診療
胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部
梅毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

りん病こしけ　永らく病む人の福音
天下の名湯別府溫泉で出來た（無効返金責任藥）
登錄商標　岩里　りん病こしけ　別府淋藥
全國知名新聞雜誌推奨（朝日、東京日日、大阪毎日、富士、講談倶樂部、主婦之友廣告乞御參照）
右は岩里家古來より家傳秘法藥にして男女血ウミ慢性淋病コシケ消渇の痛みは不思議に止り連服するも絶對胃腸障害なき名藥であります。尚ほ此の藥は責任速効藥で二日內服して効無き時は殘藥引換に全部異議なく返金します、論より證據服藥した人は皆全快喜んで居られます。
◎慢性、惡性頑固性の人は七日以上服用して下さい
美本淋病治療書無代進呈（此の新聞名記入申込者に限）代金引換廿三錢手數料前納の事、前金申込者には送料無料送藥す。
藥價…急性用 黑箱 一週分 金三圓　慢性、惡性用 赤箱 一週分 金五圓
特約一手販賣
平町古鍛冶町一〇
阿康藥舖
縣社の下（電話四四番）

滿洲から

本社の慰問に對する謝狀一束

特殊權益の擁護と東洋平和の爲頑張る

拔くべからざる決意を示す

磐崎村出身　大井川重雄君

滿洲事變突發以來各地轉戰恰も走馬燈の如き轉戰の中にも又待機の多少の閑暇ある場合に於て懷しき故鄕のニュース、地方色を聞く時何よりも貴く疲勞する心を慰す唯一の機關であり懷しき磐城新聞であつた

◇吾々同郡出身者　に於ては幾度となく貴社發行の新聞を手に取つて如何に感激した事であらうか、吾々は大きく九千萬同胞に對して熱烈なる赤誠に感謝すると共に貴社各位に對し深甚の意を以て感淚の外はないのであります、個人私は既に第一回御送呈に對し御禮を申上げなければならない當儀でありましたが

◇陣中多忙の折柄　遂意とは知り乍ら今日迄申し遲れまして誠に申譯ありません、既に同郡出身者の數々の人達から貴社への謝狀を送り夫れ〳〵陣中狀態及び今後の覺悟と決心に就ても申添へられてあるから敢て愚私から申上げる事も御座いません、事變突發以來今日五ヶ月に亘つた陣中或は戰鬪であつた、幾多將士は失ひ

◇或は負傷をして　且つ又錦州軍關內撤退の爲めに途中溝幇子の占領にて中絕した後爾後休戰となつて現在は軍事的行動は一段落を告げたものである、當聯隊の中○○大隊は奉天城內外の重要地區の警備に任じて居ります、滿蒙に於ても殆んど平穩狀態に立ち返つて居る、今後は只日支直接交涉に依つて解決さる問題である

◇然し最近に於て　日米間に不戰條約上の支障云々を喧騷されてゐるが決して當局として毫も觸れざる問題であつて當局は飽く迄滿蒙權益の確保に敢行せねばならないと思ふ、如何に世界各國が今回の日本軍の行動に對し敢へて註論をするならば吾々は斷乎としてこれ等と戰はねばならない。

◇吾々は正義に訴　へて實力を敢行するに躊躇しないのである、今回の事變其れに採まる滿蒙利權上に世界各國の利害經緯があり其の延長が懸て―（中略）―吾々は將來を顧慮し東洋の平和を保持する上に於て之の事變を一機として吾々は飽くまで頑張り滿蒙特殊權益の獲得と擴大化を主張すると共に

◇吾々は其の爲め　の犧牲は敢然惜まず私は皇軍の一員として傷くものである先は御禮旁々時局世界私觀の一端を送る

少年團員歡送

平第一校赤十字團員五十三名は今二十九日午前十時四十二分出發の獨野第一南町織田治郎君を驛頭に見送つた

奉戴記念　學藝展覽會

―平第三校で準備中―

平第三小學校では御眞影奉戴を記念する爲來月五日學藝會を五、六日展覽會を開催すべく目下準備中であるが當日は父兄其他有志を招待すると

失業救濟からも急速實現を望む

平町の道路鋪裝に就て　近く村井知事に陳情

先頃來論議されつつある平町の道路鋪裝計劃は昨年中竣功した郡山、福島兩市の實例もあり實現促進の運動如何に依つては必ず今年度內に實現さるる形勢に在るのみならず一面失業者救濟の見地よりするも極めて適當な事業なので此際地元では徹底的猛運動を起し當局に迫る必要がある處から井上、野崎、萩原の地元三縣議、伏見町長、各町議、各沿線區長多數は此程ヤルトモホールに會同熟議の上近く村井知事の來郡を機とし左の陳情書を提出する筈であつたが知事の來郡が延期となつたので近く代表者が出縣陳情する事となつた

本町は逐年交通頻繁を來し殊に自動車の增加に伴ひ一層交通運輸繁鎖を極め（中略）直に縣下隨一と云ふも過言に無之候、本町內を通する國道は幅員狹小且つ側溝の設けなきを以て降雨毎に路面泥濘となり一般交通難澁なるのみならず大雨の際は宅地內は勿論床下に雨水浸入爲に衞生上亦憂慮に堪へざるもの有之路面の改善側溝の設備は寔に急務中の急務と存候、尙一面失業者救濟方面より考ふる時は當平町附近は各炭礦の不況と共に數多の失業者を出し殊に目下施行中の平町上水道擴張工事も本年三月頃迄は完成致すべく候に付是又二百餘の失業者增加は如何にして救濟するやに就き憂慮に堪へざる次第に候間適切なる事業として速に本町內國道全線並に停車場通り縣道筋の路面改良及側溝設置工事御起工相成候樣致度關係區民代表し此段陳情候也（川角兼吉外十名）

各地情痴ニュース

△死にますわ　常磐線東荒川沖作場踏切で夜あけの列車目がけて飛び込み自殺をし五體バラ〳〵になつた娘があつた、右は茨城縣稻敷郡岡田村高橋きよ（一九）で同人は豫てから村の若者村田定吉（二二）假名―に思ひを寄せてゐたが男は近く入營する事になつた爲。懷中には死にますわと長文の遺書があつた

△破戒僧駈落　愛知縣渥美郡紳戶村大字神戶箕浦喜吾（五三）は長女よしえ（一九）が岐阜市內にゐるから捜査して吳れと岐阜署に願ひ出たので種々取調べた結果同村龍應寺住職の長男佐合靜夫（三二）と手に手を取り同市へ駈落潛伏してゐるといふ事情が判明した

△夜這ひ失敗　岐阜市昭和町二丁目地內を眞夜中怪しい男が徘徊してゐるのを密行中の警官が署へ連行取調べた處右は原籍栃木縣目下住所不定無職前科二犯振川鐵明（三四）で過日名古屋市南區錦町一カフエー稻永の女給木俣はな子（一九）の寢所に侵入しはな子と同衾中家人に發見され逃走した『夜這ひ男』と判明した

△從妹を絞殺　東京市外長崎町並木駐在所へ眞つ蒼な顏をした職人風の男が飛び込み『私は人を殺しました』と自首して出たので直ちに取調べた處右は巢鴨町大原一三七二靑物商中橋松太郞方大澤佐助（三〇）で殺されたのは中橋の次女よし（三四）と判明した、二人は從妹の間柄であるがよしが求婚を拒絕したのでカット逆上して細紐で絞殺したものだと

△駈落保護　德島市飛田裏町一丁目北內義光（三〇）は同市中道半藤いし方抱え藝妓相原はつの（三三）と手に手を取り高松港より別府航路みどり丸に乘船駈落したとの移牒に依り過日同船が神戶入港と共に身柄は水上署員が取押へ保護を加へてゐる二人は相思愛で有金を使へば心中する積りだつたと

湯本町の上水道は意外に早く完成せん

難關の隧道工事が理想的に進行　江口氏の督勵功を奏す

入山炭礦が湯本町から依託を受けた同町上水道通水路の好間、內鄕兩村地內に於ける隧道開鑿工事は堀江工業會社の手により着々進行中であるが同社の江口忠一氏は同町を夏季中の水饑饉から救ひ同時に惡疫の未然防止を期せんとする熱意から昨年九月起工以來『眞の努力とは六月中に湯本町を清水にて溢れしむるにあり』の標語を以て從業員に臨み夙夜熱心に指導督勵する處あつた爲工事意外に進捗し延長百五十米（一丁二十二間半）乃至五百米（五町半）を有する大小九個の隧道中既に六個の貫通を見たるが此種の隧道工事に在つては往々兩方面からの掘進に就て高低方向等の齟齬を來す場合が少からざるに拘らず該工事は上水道吉田主任技師以下技術員の測量宜しきを得たる結果何れも分釐の差を生せず成績極めて良好で爾餘の三隧道も恐らく同一の結果により貫通を見るものと期待されてゐる、因に該工事は來八月が竣功期限であるが三月中には全部貫通し五月迄には一切の仕上げを了する見込充分なので町直營の埋管工事が同時に完成するとせば湯本町の上水道は豫定より遙かに早く通水し茲に何百年來の水饑饉から救はれ天與の溫泉と相俟つて再び往時の桃源鄕を現出するわけである

縣境隧道近く決定乎

茨城縣當局に迫るべく　地元關係住民起つ

勿來町大字九面地內隧道改修工事は既報の如く地元民の再三の陳情に依り本縣では既に工費一萬五千圓を計上し目下平土木監督所に於ては之が設計の作製中であるが茨城縣の態度が決定せぬので地元關係住民は茨城縣當局に迫るべく此程町會で決定の上猛運動を開始したので近く左右の決定を見るものと觀測さる

磐中高女の志望者　約一割減を豫想

來月中旬から受付開始

小學校卒業期日は愈切迫したので上級學校入學志願兒童は夫々受驗準備に熱中してゐるが入學志願者は昨年より約一割の減を豫想されてゐるが縣下一受驗難の磐中、磐女に入らんとする平町內の小學生は日曜、祭日を問はず登校し敎師の熱心なる指導を受け來るべき試錬を突破すべく物凄い準備振りを見せてゐるが入學願書受付は近く福島に於て開かるる中等學校長會に於て決定する筈で（試驗期日と共に）昨年同樣來月中旬頃から開始する事になるであらうと

□□□□□□
第一卒業生撮影　平第一今春尋常科卒業生は明三十日放課後記念撮影をなすと

故人に保證させる

家賃滯納から發覺し　お鐵婆さん訴へらる

平町白銀町四越島テツ（五〇）は三年以前現在住んでゐる五丁目四桉際業山崎芳松所有の家屋を月十二圓の約定で借り受けたが家賃の滯りが積り積つて百二十三圓に逹し支拂はふともせぬので此程保證人たる搔槌小路一二川瀨貞次によつて埒あけんとした處同人は保證契約前の死亡者で差入れた保證書は正當なものでない事判明今二十九日山崎から平署へ訴へらる

我が物と思へば惜い

ガラクタ道具への執着

○○○○○○○○○○○○
稅金を調逹して差押解除を求む

平町役場では五年度町稅滯納者三百十二件金額三千二百十七圓に對し既報の如く二十六日差押へ物件の公賣を行つたが二足三文のガラクタ家財道具乍ら手放し兼ねる未練から前日迄納附したもの百八十六件に達し他は何れも豫定價格に逹せず一口の落札あつたのみである、尙來月二日午後一時から同所で殘りの百二十六件金額四百九十八圓に對し再公賣を行ふと

亭主と四兒を捨て

暢氣な万歲に走る

本夫から平署へ捜查願

西白河郡中畑村大字根宿二一七作次郎三男留吉妻永戶キヨ（三四）は客臘三十一日亭主と四人の幼兒を捨て情夫菅野某と家出したが最近四倉町で万歲渡世をしてゐる事が判明本夫から本日平署へ捜查方を願ひ出た

女中の約束が酌婦に

若干の前借迄出來た

憤慨した親から自廢願

好間村大字町田　土生サダ（一九）は客臘中相馬郡中村町人事周旋業菅野末藏の周旋で同町料理店山本ハル方へ女中として住込んだが接客を强いられ現在では酌婦となつて若干の前借さへ出來た事を兩親が聞き込んで憤慨し此程中村署に自廢方を願ひ出たので本日同署から平署へ身元照會あつた

元平署敷地　拂下げ陳情

元平署敷地三百四十二坪中交通事故防止の爲內二十坪を道路敷となすべく過般縣から認可あつたが地元では町將來の爲之亦道路敷として七十坪の拂下げ方を申し出たに對し縣では過般來平署に命じて競賣を行ひつつあるので個人の有に歸してからでは事面倒と初志の貫徹を期すべく近く拂下促進の陳情をなす事となつた

第二小學校の凍傷者　昨年の六分一に減る

七百名近くが百名台に

平第二小學校では晝休み時間を利用し全校生徒の凍傷治療を行つてゐるが本年は暖氣の爲昨年末の二百七十名から百二十餘名內重患者二十餘名に減じ昨年の五百三十九名（重患百三十名）に比べ六分の一程に過ぎぬ好成績である

□□□□□□
平商寒稽古納會　平商校の寒稽古は一昨二十七日終了今二十九日午前十時半から納會を開催したが出席者は柔道九十八名、劍道七十五名で皆勤者の表彰を行つた

□□□□□□
第二生見學遠足　平第二小學校尋五、二百餘名は今廿九日午後零時半から須藤、佐藤、野原、鈴木、草野の各訓導が引率常磐銀行を見學。同尋四、二百卅名は午前十時から荒、大須賀、米本の各訓導が引率飯野村方面に遠足を試みた

籔の中に焚火

磐中生の所爲か？　學校から嚴重注意

磐中では各學級毎に週番を定め校舍內の取締に任じてゐるが此の程週番から提出された日志中高月の欄に於て焚火の跡を發見した旨記載されてあつたので學校當局では生徒が所爲では無いかと今二十九日の朝會に於て嚴重注意する所あつた

○○○○○
觀梅列車運轉

平驛から差立つ

水戶公園の梅は丁度來月中旬が見頃なので平驛では期間中臨時列車を運轉する事となつた

平窪村少年消防組發會

平窪村少年消防組の發會式は今二十九日午前十時から同村小學校で行つた

苟も生徒は耽溺氣分に浸る勿れ

飲食店出入を嚴戒

平町內カフェーは近來益々增加の傾向あり之に伴つて萬一學生が之の方面に足繁く出入して耽溺氣分に浸るやうな事があつては云ふ懸念から學校當局では嚴重監視の眼を睜つてゐるが場合によつては停學等の處分に出で風紀の維持に力める方針であると

磐中寒稽古　五年間皆勤

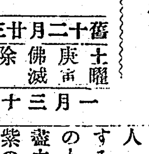
磐中に於ける寒稽古の五ケ年間皆勤者は左記十二名で三十日の納會に於て特別メダルを授與されると

（柔道）片寄登喜雄、鈴木末二、水津彥雄、叶多正良、田久濟、長瀨直衞、齊藤正武、菅野正一

（劍道）鈴木新夫、佐藤一、小野三郞

○○○○○
他人の山を伐る

磐崎村大字藤原高木佐久馬（四三）は此程前後數回に亘り同村大字下湯長屋鈴木正次所有の山林中から杉材三十七本を盜伐し昨二十八日鈴木から平署へ告訴さる



舊十二月廿三日　土曜　庚寅　佛滅　除　胃宿　一月三十日

諸判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　意見の衝突計畫の齟齬など起り易く退守吉▲二黑の人　進展力盛にして大志大望をも遂達する吉日▲三碧の人　定業を堅く守ればとがめなきも他事を謀るは凶▲四綠の人　萬まれたる幸運を取逃がさぬ樣勵まるべし▲五黃の人　勉むれば努むるほど功績の大なる幸運の日▲六白の人　心の動搖激しく何事も功果を擧げ得ざる日▲七赤の人　輕忽に事を行ひて後悔するに至る短慮嚴禁▲八白の人　人の賴みは請入れて盡力すれば後日幸あり▲九紫の人　浮沈多くして吉凶交々至るべし內を整へよ

平町慶弔錄

△婚姻　六間門二〇眞木延甫（三二）　植田東町一八太田ヨシ（二三）

△死亡　五丁目一九茨城縣多賀郡大津町一一永山孝之助（二四）

舊歳暮福引大賣出し

舊十二月廿二日より廿八日迄

現金御買上貳圓毎に福引券一枚呈上仕候

年末年始の御贈答には贈るに便利受けて重寶（三井の商品券）

景品目錄

特等　丸帶又ハ小紋
壹等　高貴織又ハ本場銘仙
二等　延斯反物又ハ帶地
三等　敷布又ハメリヤス
四等　風呂敷
五等　御手富貴

先仕入の底値品豐富取揃へて在りますから是非此機を逸せず御買上の程お待ち申上げます

◇御婚禮式服特賣……御仕着向格安品
◇御歲暮、年始、御進物用……格安反物
◇別誂仕立コート
◇防寒用品絲製品、ラシャ類、流行ショール柄に！　全商品本年掉尾の大奉仕値に！

三井呉服店　平町　電話三八・二八四

冬の洋服

御召替の節となりました皆樣の御氣に召す品を豐富に取揃へて御座います

霜目サーヂ脊廣……12.00より
ウヲステツド脊廣……11.00より
黑サーヂ立襟上下……5.30より
オーバ……4.50より

あかや洋服店　平二　電203

貸切は●●

親しみあるサービスを以つて知られたる！

尼子タクシーへ

電　六四〇番

主任　澤　正路